

田中康夫

今月のゲスト

トランプ大統領の来日から、
立憲民主党の躍進、
日本の製造業の失態、
カタルーニャ州の独立まで

JR中央線「東小金井」駅の高架下にある

『ONLY FREE PAPER ビカゴブレイス店』。

全国のフリーペーパーを自由に閲覧でき、
持ち帰ることもできるライブラリーだ。

田中・浅田両氏もフリーペーパーを立ち読みしつつ、

トランプ大統領来日の話題から対談を始めた。

photographs by Hiroshi Takaoka text by Kentaro Matsui

浅田彰



談 呆 国 憂

season 2 VOLUME 90

トランプ大統領が来日。 拉致被害者問題は？

浅田 11月にドナルド・トランプ米大統領が異例にも米軍横田基地に飛来、日本滞在のあいだ安倍晋三首相は恥も外聞もなくご機嫌とり終始した。戦後70年を超える対米従属の歴史の中でも、これほどの屈従ぶりを見たことがない。

それに先立つ総選挙での自民党の政見放送を観たら、三原じゅん子参議院議員に「2月の訪米のとき、北朝鮮がミサイルを発射した、その直後、安倍総理とトランプ大統領が二人ならんで毅然とメッセージを発した」ことを褒められると、安倍はトランプが「米国は100パーセント日本ともにある」と言ってくれた、と大威張り。あのときは、フロリダのトランプの別荘で、得体の知れない招待客がいる中、トランプと安倍が北朝鮮のミサイルについて側近から説明を受ける姿が流れ、ついでに核のボタンを入れたスーツケースを持つ武官とのセルフイー（自撮り写真）をネットにアップするやつまで出て、世界の軍事・外交筋を呆れさせたというのに。

また、国連の演説でもトランプが北朝鮮を非難して「愛らしい13歳の少女（横田めぐみさん）」の拉致に言及してくれたってんで大喜び。その流れで、来日したトランプはめぐみさんの母親を含む拉致被害者家族に面会した。もちろん拉致は許しがたい犯罪だけど、それを理由に北朝鮮に強硬姿勢を取るだけじゃ、緊張を煽り、かえって拉致問題の解決を難しくするばかり。

考えてみれば、安倍ポピュリズムの原点が拉致問題なんだよね。2002年の小泉純一郎首相と金正日主席の会談で、北は拉

致問題の責任を認めて謝罪し、被害者の一時帰国を認めた。北にしては驚くべき譲歩で、田中均・外務省アジア大洋州局長の功績は大きい。それで5人の被害者の一時帰国が実現するんだけど、北との約束通りに進めようとする福田康夫官房長官や田中均に対し、安倍官房副長官が「帰国した被害者を北に戻しちやいけけない、8人の被害者が死んだという北の主張も認められず、他の不明者とあわせ真相解明を要求すべきだ」と言い張った。で、そうやって約束を破ればせつかくの交渉の糸が切れてしまうっていう福田・田中ラインの警告にもかかわらず、小泉首相が安倍のポピュリズムに与した。当然、北は激昂し、2004年の小泉再訪朝で5人の家族も連れ帰ったのを除き、それ以後は拉致問題を含むすべてが膠着したまま。

繰り返せば、国民感情からすると北は許しがたいよ。でも、その国民感情におもねる安倍のポピュリズムは、粘り強い交渉過程で現状回復に向かう道を閉ざし、問題の解決を難しくしただけ。外交上の合意ってのはたいてい耐え難い妥協の産物だけど、その苦い丸薬を国民に飲ませる現実主義的エリートとしての責任を安倍は放棄した。それどころか、いまやトランプまで抱き込んでお涙頂戴のパフォーマンスを繰り返してやるわけだけど、それで何が解決するのか。本当なら、韓国とタッグを組んで、戦争も辞さない構えのトランプを引き留めるのが、日本の役目なのに。

田中（政府は）知恵を練ってくれていると思っただが、（日朝交渉が停滞し、拉致問題



解決の道筋が見いだせない今、信じてよかったのかとの思いが家族にある」と横田早紀江さんはトランプとの面会前日の会見で吐露した。それは娘が拉致されて40年目を迎えた日。小泉訪朝から15年、民主党政権時代を含め拉致問題担当大臣に任命された17人は誰一人として平壤を訪れていない。政治が結果責任だとしたら、襟元の青いバツジはパフォーマンスに過ぎなかった。拳を上げて抗議するだけで成果を得られずに敗退し続ける市民運動家の玉碎と同じだよ。

浅田 さらに遡れば、1994年のジミー・カーター元米大統領の電撃訪朝によって核危機がいったん回避され、フレームワーク合意だったのでできた。しかし、なかなか核開発中断に漕ぎつけられないのに業を煮やしたジョージ・ブッシュ・ジュニア元米大統領が合意を破棄。それ以後、北は核開発を加速させて今日にいたるわけだよ。

バラク・オバマ前米大統領も北朝鮮については無為無策だったけど、イランについては、核開発を中断しIAEA（国際原子力機関）の査察を受け入れるという合意に漕ぎつけた。トランプはそれを破棄しかねない勢いなんだけど、そんなことをしたらイランが核開発を再開するだけじゃなく、北もアメリカとの交渉なんて意味がないって思うだけ。いかに不完全な合意であつてもないよりましなんで、その枠内で粘り強く状況を改善していくほかないのに。

ジョセフ・ナイと、ジョージ・ブッシュ・ジュニア政権で国務副長官だったリチャード・アーミテージが対談を東京で行った。「トランプが発したメッセージ『炎と怒り』にさしたる効果はなく、米国が軍事オプションに言及しているのは、あくまでも交渉力を高める手段の一つだ」とナイが述べて、「自殺願望者ではない金正恩は、北朝鮮が暴発すればどんな目に遭うか自覚しているから、この問題は危機的状況には至らずに対処可能だ」とアーミテージも呼応し、「中国が率直に北朝鮮と議論する環境を整えるべき」とナイが付け加えた。

奇しくも同日、韓国の宋永武国防部長官と一緒に板門店を訪れたジェームズ・マティス国防長官は「アメリカの目標は戦争ではなく、検証可能で不可逆的な朝鮮半島の非核化だ」と語り、ソウルに戻って定例安保協議を終えた後の共同会見で「朝鮮半島を非核化する」世界各国の外交官の交渉を支えるのが私の役目。軍事的選択肢は基本的に平和の維持が目的だ」と述べた。その意図は明々白々でしよ。

浅田 アメリカの国防総省が公式に認めるよ、核を完全に除去するには地上戦しかなく、そうなる朝朝鮮半島で100万人を超える死者が出る可能性がある、と。空からの攻撃だけで、指導部を「斬首」し、核を除去するなんて、所詮無理。

田中 とこが、日本では「マティス長官、軍事的選択肢を否定せず」と煽るんだから、これこそ記者クラブのフェイクニュースでしょ。韓国には日本人が10万人、米国人が20万人近くもいるのに、板門店からわずか50キロメートルのソウルが火の海となる戦争を望んでるのか、お前たちは。

浅田 アジア歴訪の前、トランプ陣営とロ

その昔の保守政治家は
ウチナンチューの

心の痛みを理解して いたものだよ。(田中)

シアのつながりを捜査するロバート・モラー特別検察官が、選挙対策本部長だったポール・マナフォートら2人の起訴に踏み切った。マナフォートは、ウクライナのヴィクトル・ヤヌコーヴィチ前大統領の選挙参謀を務めるなど、世界を股にかけてダーテナ裏の仕事をしてきた人物で、有罪になる可能性は高い。むろん、そのあたりの尻尾切りで終わるかもしれない。トランプの弾劾までいく可能性はまだ1割以下だと思っただけ。もうひとつ、憲法修正第25条で、閣僚の過半数が大統領は職務遂行不能と認めるときは、副大統領が大統領代理になる。精神的に問題があつて大統領の任に堪えないってことになれば、それもありうる。ただ、そういう場合、本物の宗教右翼のマイク・ペンスがトランプに代わるわけで、藪蛇だつて話も(苦笑)。

ともあれ、アメリカ国内だけじゃなく、世界がトランプと距離を置きつつある今、トランプとの近さをアピールする安倍政権って、ホントに恥ずかしいね(苦笑)。

田中 対米協調ならぬ対米従属派の自称「保守」が、ジャバン・ハンドラーズとして崇め奉る2人の先ほどの対談でも、「権幹部の発言を夜中にツイッターで引っ繰り返す極めて特異な性格だ。大統領2期目はない」とナイが述べると、アーミテージも「就任から1年近いのに大統領としての自覚がない」と切り捨てていた。なのに、大統領選はヒラリー・クリントンで決定、

と最後まで連呼していた日本のメディアは「ドナルド&イヴァンカ親子の訪日は大成」の報道一色。いやはや、周回遅れどころの話じゃない(苦笑)。

しかも共同会見でトランプに、「非常に重要なのは日本が膨大な兵器を追加で買うこと。米国に雇用を、日本に安全をもたらす」と言われて、効果の程も定かでない1基800億円ものイージス・アシオアをはじめとする米国製の巨大ハコモノ装備品が更に増えそう。それでなくとも日本は、FMSと呼ばれる対外有償軍事援助予算が第1次安倍内閣時代の5倍にも増えているからね。自衛隊員や海上保安官の日常的な装備品を交換したり充実させる方が、現場のスタッフだけでなく国内の防衛産業にとっても嬉しいだろう。

立憲民主党が躍進、 と騒がれているけど……。

田中 前回の対談の校了直前に結果が判明した10月の総選挙では、日本共産党の「大人の対応」に助けられて、枝野幸男が代表を務める立憲民主党が54議席を獲得。野党第一党となった。

『朝日新聞』が11月中旬に3回続きで掲載した「検証 民進分裂」によると、知事選・都議選のホップ・ステップに続いて総選挙でバングー・ジャンプを目論んで希望の党代表に就任した小池百合子は当初から民進党代表の前原誠司に、「全員の合流は困る。護憲の方はお断り」と伝えていた

田中康夫

たなか・やすお●1956年東京都生まれ。一橋大学法学部卒業。大学在学中に『なんとなく、クリスタル』で文藝賞受賞。長野県知事、参議院議員、衆議院議員を歴任。最新刊は『33年後のなんとなく、クリスタル』。http://tanakayasuo.me



と。ところが前原は「起死回生の策で多くの仲間を当選に導き、政権交代を実現するにはこれしかない。全員が行けるように小池氏と話し合いたい」と解散当日の両院議員総会で演説し、満場一致で了承された。「希望の党との合体は」国共合作だ、「(勝利した後に旗印を変える)トロイの木馬作戦だ」とツイッターで息巻いていた民進党参院議員の一人は「憲法違反の法律(安全保障法制)はだめでしょう」と前原が両院議員総会で述べたから信じたと弁解しているらしいけど、そもそも小池は「現行憲法を廃止すべき」と2000年11月に衆院憲法調査会で発言している「日本会議」派の人物だよ。しかも八ッ場ダム問題で迷走を続けた国土交通大臣時代に僕が「口先番長」と命名したのが前原だよ。即座に見抜けなかった自分の眼の節穴ぶりを恥じ入りなさいよ(苦笑)。

とまれ、企業丸抱え選挙も組合丸抱え選挙も苦手なウルトラ無党派層が「まっとうな政治」に期待して立憲民主党に一票を投じた。ところが選挙の翌朝、神田駿河台の連合会館に前原も枝野も足を運んだのには驚いた。その名も日本労働組合総連合会の連合は、労働貴族の総本山でしょ。前原・小池会談にも立ち

会ったのに覚書すら交わさなかった連合会長の津津里季生は今回の騒動の共同正犯だよ。2019年の参院選ではよろしくと支援を要請する前に、「立憲民主党はあなたです」と選挙戦で語り掛けていた枝野は、新橋や渋谷

谷の駅頭で通勤・通学の人々にお礼の街頭演説をすべきだった。と呟いたら、お礼は公職選挙法違反だろ、とデイリーのツイートをあつたけど、政党代表だもの違反でも何でもない。新宿も池袋も錦糸町も吉祥寺も夕方まで回って、連合なんて翌々日に行けばいいんだよ。もつと言え、自民党も行うようになった車座集いを最低でも全国10か所で行うべき。合計で数千人しか集まらなかつたって、SNSだけでなくメディアを通じて拡散される。前原に追い出されたので4月まで政党助成金は入りません。大宮の家も担当に入りました。皆さんも1円募金をお願いしますと訴えればいいのに、真っ先に労働貴族の総本山に向くとはね。浅田 旧・民進党のリベラル派と保守派が別れてはつきりしたのはいいけど、どっちも数の上じゃ自民党の5分の1ほどしかないんで、野党結集って意味ではやっぱり大敗北だよ。

田中 イタリアの俳優、ベッペ・グリッロが結成した五つ星運動のようにブームに乗って頭角を現すけど、利権とは対極の理念を掲げる市民運動は持続力がない。でも、それを乗り越える努力をしなきゃ。

浅田 個々の野党が旗幟を鮮明にして、かつてのイタリアの「オリーブの木」方式で野党の連携を再構築するほかないだろうね。田中 その前に小沢一郎が反省の弁を述べないとね。「私が導入した小選挙区比例代表並立制は政治を劣化させてしまいました。多様な意見が反映される中選挙区制に戻すために今回の総選挙で政権交代しましょう」ってな争点を打ち立てたほうが左右両ウイングから票は取れるのにな。浅田 民進党を希望の党に合流させようとしたのが小沢の振り付けだったとして、結



果は悲惨だったな。

田中 実は彼は政策の人じゃなくて常に政局の人。事前に前原・小池・小沢の3者会談を行っていたからこそ、「自分は希望から出ると思う」と解散当日に述べた。

話は変わるけど、「突破口はここに」というシンポジウムを日経が主催したら、三菱UFJ、三井住友、みずほの3メガバンクの社長や頭取が全員、日銀の金融緩和は5年も経ってデメリットが強いので柔軟に出口を考えるべきと発言していたよ。

浅田 トランプは前任者・オバマの選んだジャネット・イエレン連邦準備制度理事会議長は嫌だっただけの理由でジェローム・パウエルに首をすげかえるけど、金融の正常化に舵を切ったイエレンの方針は継承される。ヨーロッパ中央銀行もそっちに向けて動き出してる。日本だけが最後に残ってババ抜きのパバを引くことになるわけで、それこそ国難だよ。最初2年って期限を掲げながら、4年半たってもインフレにならないのに「異次元の量的緩和」をやめない黒田東彦・日本銀行総裁の態度は、先の戦争での日本軍を彷彿させる。

国難って言えば、神戸製鋼の品質に関するデータ改竄や日産とスバルの無資格検査も大問題だね。合理化と称する人減らしで余裕がなくなり、コンプライアンスと称する形式主義の下、実質的には現場での手抜きが横行してるんじゃないか。日本は、エリートが無能でも、現場がしっかりしてるんで、製品の品質に定評があったわけだから、これが氷山の一角だとすれば大変なことになりかねない。

田中 なのに納品された自動車や鉄道の会社は揃って、神戸製鋼の製品は直ちに問題はないと官房長官時代の枝野みたいな発言

をしている。知事時代、並行在来線を運行するしなの鉄道に幹部職員を交代で研修に行かせた。そこにはJRに採用されなかった融通の利かない保線工が働いていて、でもね、ルールを叩いて、音が違う、縮めても音が違う、マニュアル上では

交換時期ではないけど、これは替えてくれ。それは親方日の丸発想のわがままじゃないと、戻ってきた職員は感銘を受けていた。ドイツから出荷時にはOKだった自動車のボディの微妙な歪みを直してヤナセでは売っていて、それが日本のモノ作り産業の凄さだと尊敬されていたのに、劣化しちゃうったもんだ。

浅田 日本は化石燃料時代の自動車です。市場に進出したわけだけど、電気自動車なんかの時代に向けて主導権を取れるかどうか危うくなってきた。そういう意味では、大学も企業も研究開発費をもっと増やす必要がある。希望の党が企業の内部留保に課税するなんて言ってたけど、それより研究開発にどんどん使わせたいほうがいい。

田中 国民配当としてのベーシック・インカムや就労時間保障のベーシック・ワークもそうだけど、天動説から地動説に大転換しなければならぬのに、認知的不協和が起きて、これまでの自分の思考軸を変えられない人が多い。

浅田 あのブドウは甘い、しかし手が届かない、となると認知的不協和が起こるんで、それを解消するため「あのブドウはどうせ酸っぱいに違いない」と思いこむ。それと



なんだ。

カタール・ニヤが独立宣言。国と地方のあるべき関係は？

同じことだね。太陽光発電にせよ、燃料電池にせよ、日本は最先端を走ってたのに、いまや中国にお株を奪われかねない状況。先端的な科学研究でさえそうだよ。安倍政権が中国のヘゲモニーに対抗するって言うなら、もっと危機意識を持つべき

浅田 スペインのカタール・ニヤ州が住民投票に基づいて独立を宣言、スペインのマリアノ・ラホイ国民党政権はこれを違法として州政府幹部の逮捕に踏み切った——

解任されたカルラス・プチデモン前州首相はベルギーに逃れたけれど。たしかに、独立派は性急だったかもしれない。でも、かつての社会労働党政権下では、自治権を拡大する方向で国と州の交渉が続き、カタール・ニヤを国家とする(暗にスペイン全体をマールチ・ナシヨナルな連邦とする)自治憲章が住民投票を経て制定された。それが憲法違反だって訴えたのが、野党・国民党首

だったラホイ。2010年に憲法裁判所がそれを認めたものだから、独立派も過激化したわけね。

田中 経済的に強いカタール・ニヤが一方的に独立したら残りのスペインが大変だという反発はわからなくもないけど、今回の中央政府の抑え込みはちよっとね。それでなくともイギリス領のジブラルタルも今後、問題になる。EUからイギリスが抜けた後、

ジブラルタルに行くのにパスポートは必要なのか、ビザを取るのかと。

浅田 EUでは主権(ソヴリンティ)じゃなく補完性(サブジディアリティ)が重要だって議論がある。EUはヨーロッパ全体でやるべきことだけやる、逆に村単位でやるべきこともある、いずれにせよ主権国家だけを絶対的な単位とすべきじゃない、と。そういう意味で、既存の国家主権を相対化しつつ地域の自治権を強めていくのが正しい方向だと思うけど、カタール・ニヤの場合は、人民戦線派が強い地域だったんで、フランススコ・フランコ大統領のファシスト政権の下で冷遇されてきた、そんな歴史もあるから、なかなか難しいけどね。

田中 最近の自称「保守」は沖縄の問題もすぐにイデオロギーと結びつけたがるけど、野中広務も橋本龍太郎も梶山静六も、その昔の保守政治家はウチナンチューの心の痛みを理解していたものだよ。

浅田 沖縄は太平洋戦争で悲惨な地上戦を経験し、戦後も米軍基地の多くを押し付けられてきたわけで、カタール・ニヤよりひどい経験をしてきたとも言える。すぐさま独立に進むかどうかはともかく、さつき言った意味で、もっと大きな自治権、それに米軍基地に関する一定の交渉権を認めることは、十分あっていいと思うよ。

最終的には、EU的な連合が世界全体に広がり、同時に主権国家の比重が下がっていくってのが理想なんだけど。

世界がトランプと距離を置きつつある今、安倍政権って、ホントに恥ずかしいね。(浅田)

浅田 彰

あさだ・あきら ●1957年兵庫県生まれ。京都大学大学院経済学研究科博士課程中退。京都造形芸術大学教授。83年に出版されたデビュー作『構造と力—記号論を超えて』はベストセラーに。

